

東京土建の結成時からDNAを今日に引き継ぎ いかに発展させるか

元東京土建 元全建総連書記長
清水 謙一

組合の役割を客観的かつ 歴史的に俯瞰する



清水さん

東京土建の発展を基礎づけた結成時の闘い組織論の原点について話します。

東京土建が「要求を掲げてこの組合を作ったか、自らの組織の歴史をどうして支部の役員、書記局としてどういう意味があるかを整理したい」と思っています。一つ目の問題は、東京土建が現在の建設産業や日本政治経済の中でどう役割を果たしているのか、それを客観的に歴史的に俯瞰するかということです。二つ目は、例えば戦争直後の運動と今の建設産業や建設労働者をめぐる状況は様々な意味で違うわけですから、歴史的な観点から今の課題を考えていく、そして自分たちが今の東京土建のこの70年を越える闘いの中でどのような客観的な位置を占めているのかを考えていくことは極めて重要です。

例えば賃金運動でも協定賃金運動があり、それから労働協約を結ぶという運動があり、公契約条例の運動が、様々な形で発展、変化があります。それを正確に位置づけ、今自分たちがどう方向に進んでいるのかを客観的に見ることが大切だと思います。



創立70周年記念をして行なわれた東京土建築りよみうりランド (2017年11月12日、よみうりランド)

の革命、産業革命と市民革命から生まれたというのが広く同意が得られていることだと思います。労働組合があってもいいし、労働組合がなくてもいいという位置づけになってしまっています。しかし歴史的問題から考えると労働組合の有無にかかわらず、そこで働く労働者がその気になり、使用者に自分の要求を訴えてもらいたいと思えば自然発生的にでもストライキは行なわれるものです。

全協土建と
東京石工組合

日本の労働組合の歴史では1870年代、日本でも炭鉱、繊維産業のストライキが相次ぎます。有名なところで、1885年に甲府の製糸工場の女工のストライキ。数百人の女工さんたちが立てもり、使用者と交渉しました。1912年には労働者の



機関紙「地下タビ」 創刊号

要求に忠実、実現に総力発揮 一人一人が主人公に

東京土建の遺子「DNA」として我々が引き継ぐのかと考えてみた時に、組合員が要求に徹頭徹尾忠実な組合、その実現のために本当に組織の総力を発揮できる組合というところが、建設産業に働くすべての人を対象にする一般労働組合、階級的な労働組合として出発したというところが、そして3つ目として組織論としての一人一人が主人公の組合作りとい

うことを我々は一貫して追求してきたのではないかと。この3つを私たちが結成当初の組合づくりや組合の方針が学ぶ必要があるのではないかと考えています。当時と状況は違いますが、今の状況に合わせそのDNAを発揮させるべく、我々が必要なのは、組織として出発したというところが、そして3つ目として組織論としての一人一人が主人公の組合作りとい

の横暴に下積にされている建設の中小業の先頭に立つて社会保障の充実、雇用と賃金の安定、経営の健全化を図る闘いを闘ってきた組合であること、そして、権利を守り発展させる闘いに全員が参加している事実、組合活動に参加することによって、家庭と職場だけでなく、それより広い地域、仕事、そして仲間という大切な縁(えん)を作っていくこと、そのことも組合員全員が意識して自分のものとする。そして、自分を大切にする。家族を大切にする。仲間を大切にする。そして組合を大切にする。そこから建設国保組合の設立という課題との関係でも

仕事激減、固定経費の負担大 「応援金」活用し助かる

【小平東村山・書記・奥田八志記】主に鹿島道路橋の下請として道路・外構工事の仕事をしている法人代表のT・Sさん、昨年から続くコロナの影響で仕事が激減、支部へ相談しこれまで持続化給付金、雇用調整助成金、家賃給付金などの融資を活用して事業を継続してきました。「社員の手給は雇用調整助成金で何とかだが、会社負担の法定福利費や家賃・リース代など仕事がないと支払いが大変」と厳しい経営状態を訴えていました。支部では、T・Sさんに5月から始まった東村山市独自の制度「東村山応援金」の申請を勧めました。

東村山市の担当課長の話では、「今年1月に市内業者へは、実態アンケート行ない、そこで市は3・6億円を予算化

【中野・書記・上山将之通】6月25日、オンラインセミナーを開催。主催は東京土建中野支部も加わる中野区耐震改修促進協議会。協議会では、耐震ウォーミングアップや公開講座などを実施しています。今回は「コロナ禍の家庭内換気」をテーマに、東京理科大学工学部の倉淵教授に講師を依頼。建築の専門家のほか、地域住民などが身近な問題として視聴しました。一般的に、感染症の経路は「飛沫」「空気」「接触」に

【八王子 書記・伊藤仁記】八王子市は今年4月から、コロナ禍でのテレワークに対応した「ワークスペース」を設置補助(をスライトしました。これは「居住環境整備補助」の長寿命化や省エネなどのメニューに、台風対策改修補助とともに追加されたものです。

地域経済活性化にもつながっています。テレワークの導入が広がるなかで、さらに仲間の仕事確保につながるを期待されています。

コロナなんか負けないぞ すすめよう地域からの取り組み

【小平東村山・書記・奥田八志記】主に鹿島道路橋の下請として道路・外構工事の仕事をしている法人代表のT・Sさん、昨年から続くコロナの影響で仕事が激減、支部へ相談しこれまで持続化給付金、雇用調整助成金、家賃給付金などの融資を活用して事業を継続してきました。「社員の手給は雇用調整助成金で何とかだが、会社負担の法定福利費や家賃・リース代など仕事がないと支払いが大変」と厳しい経営状態を訴えていました。支部では、T・Sさんに5月から始まった東村山市独自の制度「東村山応援金」の申請を勧めました。



T・Sさんの相談に答える奥田書記(左)

【中野・書記・上山将之通】6月25日、オンラインセミナーを開催。主催は東京土建中野支部も加わる中野区耐震改修促進協議会。協議会では、耐震ウォーミングアップや公開講座などを実施しています。今回は「コロナ禍の家庭内換気」をテーマに、東京理科大学工学部の倉淵教授に講師を依頼。建築の専門家のほか、地域住民などが身近な問題として視聴しました。一般的に、感染症の経路は「飛沫」「空気」「接触」に

【八王子 書記・伊藤仁記】八王子市は今年4月から、コロナ禍でのテレワークに対応した「ワークスペース」を設置補助(をスライトしました。これは「居住環境整備補助」の長寿命化や省エネなどのメニューに、台風対策改修補助とともに追加されたものです。

【八王子 書記・伊藤仁記】八王子市は今年4月から、コロナ禍でのテレワークに対応した「ワークスペース」を設置補助(をスライトしました。これは「居住環境整備補助」の長寿命化や省エネなどのメニューに、台風対策改修補助とともに追加されたものです。

居住環境整備にプラス 仕事確保にも期待

メニュー	内容	条件	補助	施工
ワークスペース設置	在宅勤務のための自宅改修	工事費20万円以上のものなど(※)	20%以内・10万円上限	東京土建八王子支部含む市内の建設団体が登録推薦した事業者
長寿命化	屋根・外壁の塗装など	工事費10万円以上のものなど(※)	20%以内・5万円上限	
省エネ	断熱工事など	工事費25万円以上	20%以内・15万円上限	
台風対策	屋根瓦緊結や雨戸設置など	工事費25万円以上	20%以内・10万円上限	
木造耐震改修	昭和56年5月以前の木造住宅耐震化	耐震診断で強度1.0未満	2/3以内・100万円上限	
障壁解消・手摺設置など		65歳以上の方がいる世帯	20%以内・20万円上限	

【三銀(同玉)】五桂2
【三飛成(同金)】五
【三銀(同玉)】五桂2
【三飛成(同金)】五

(※) 昭和56年5月以前の住宅は、耐震性能が高められていることが条件。